白寿

発行者　藤崎町老人クラブ連合会
広報委員会
藤崎老人福祉センター内
電話　七五―三二三二

新年を迎えて

藤崎町老人クラブ連合会
会長　舘山　新一

我が国では、少子高齢化や人口減少に伴い、社会・経済・家族・地域といった基本的条件の転換期を迎えています。更に、３年以上に渡る新型コロナウイルス感染の広がりは、社会全体に大きな影響を及ぼし、とりわけ我々高齢者の健康・生活・活動への制限や、社会的な孤立、孤独などといった事態を顕在化させました。老人クラブの仲間達も少し元気がなくなった様に思われます。

こうした情勢を背景にして高齢者も住み慣れた藤崎町の構成員として、健康で自立した日常生活が出来るよう、また、安心・安全のまちづくりを図ることが大切となっています。

そのためには今後とも会員の意欲と行動、町民の励ましと協力が必要であります。これからも行政の理解と支援のもとに、健康・友愛・地域への貢献など多彩なクラブ活動を通して仲間はもとより地域コミュニティーと共に、高齢者が生きがいのある生活が出来るような共生社会の実現の為に、一翼を担っていくことが期待されています。これからも皆さんで支え合いながら健康で生きがいを持ち、あらゆる世代と連携し、明るく元気な老人クラブ活動を実践していきましょう。

また、今年は会員数が減少しているので、老人クラブの意義や有効性への理解を深め、健康づくり・介護予防活動や友愛活動、そして地域の仲間たちと行く楽しい研修旅行などの活動を通して、会員のみんなで地域の仲間を増やす会員増強の取り組みを推進します。

会員の皆様方の御健勝と新しい年が、素晴らしい一年になりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

楽しかった・昔の遊びコーナー
第11回ふじさき秋まつり

令和５年11月18日㈯・19日㈰、第11回ふじさき秋まつりが開催され、町老連が子供広場で「昔の遊びコーナー」を担当した。

◆秋まつりオープニング

常盤小学校スクールバンド演奏でまつりが始まった。

◆老人クラブ会員の活動

町老連がイベント館（スポーツプラザ藤崎）の広場（昔の遊びコーナー）に役員・若手委員・女性部員が二日間とも20人ずつ（延べ人数40人）が「ずぐり・めんこ・けん玉・お手玉・あやとり・おはじき」を子供達に手ほどきし、一緒に楽しんだ。

全国に話題になっているジャンボおにぎり完成

常盤小スクールバンドで開会

◆遊びの体験

コーナーには、常時20人くらいの親子・友達・兄弟姉妹などが自由に昔の遊具を手に取り、楽しんで遊んでいた。

・めんこ（ビダ）

スタッフが遊び方をこのように「ひっくり返す・はじく」と教えていた。

・ずぐりまわし

６年も遊びに来たのか、上手に出来る子供が一緒に来た友達に、ずぐりを持つときは「ちゃわん」を持つように、ヒモを持つときは「鉄砲」（ピストル？）を持つようにと子供同士の合言葉で教えたのはビックリした。成功すると「ヤッター！アッ！・すごい」と歓声を上げて喜んでいた。

◆遊びを通して

親子間のコミュニケーション・世代間交流で楽しんだ遊びコーナー、参加者はスタッフの皆さんと一緒に大いに楽しんでいた。

けん玉は指導する会員より上手

津軽独自の「ずぐり」まわし

牡蠣（かき）季節　冬

◇老連理事会のお知らせ◇

例年一月に開催してきた「新年研修会」はインフルエンザ及び新型コロナウイルスの感染拡大と防止のために中止し、理事会を開催します。、

一、日時　２月８日㈭10時～12時
二、場所　藤崎町文化センター３階　多目的ホール
三、日程
(1)受付　９時30分～10時
(2)開会　10時～10時10分
(3)県老連会長表彰状の伝達と優勝報告　10時10分～10時40分
◆東町チーム　全国ユニカール大会の優勝報告
◆県老連会長表彰
・優良老人クラブ徳下徳寿会（会長　山内正光氏）
・個人功労　佐藤　透　氏（【白寿】執筆者）
佐藤佳丘子氏（女性部長）
髙木　洋一氏（老連事務局長）
(4)講話　10時45分～11時45分
演題「町政報告及び高齢者対策」
講師　藤崎町長　平田　博幸　氏
四、閉会　11時50分
※その他、理事とは
単位老人クラブ会長、専門部長、女性部長　広報委員長、若手委員長
本部役員（会長、副会長、監事、会計、事務局長）
※出席者は申込書に記入の上、**１月15日㈪**までに、単位クラブは藤崎・常盤両老人福祉センター窓口まで提出をお願いします。
申込書は、単位クラブ宛は【白寿】１月号に同封します。
専門部・委員会は御足労お掛けしますが、藤崎・常盤両老人福祉センター窓口で受領して下さい。
欠席の場合は、必ず代理の役員の出席をお願いします。

１月行事予定表

日	曜	行事	時刻
1	月		
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土	レクダンス部	9:00
7	日		
8	月	**成人の日**	
9	火	**役員会**	**10:00**
		囲碁・将棋部	12:30
10	水		
11	木	囲碁・将棋部	12:30
12	金		
13	土	レクダンス部	9:00
14	日		
15	月	芸能部	12:00
16	火	囲碁・将棋部	12:30
17	水		
18	木	**福祉課・社協・老連連絡会議**	**10:00**
		囲碁・将棋部	12:30
19	金		
20	土	レクダンス部	9:00
21	日		
22	月	生け花部	10:30
		芸能部	12:00
		広報委員会	**13:30**
23	火	囲碁・将棋部	12:30
24	水	茶道部	13:00
25	木	囲碁・将棋部	12:30
26	金		
27	土	レクダンス部	9:00
28	日		
29	月	芸能部	12:00
		【白寿】配布日	16 時➡
30	火	囲碁・将棋部	12:30
31	水		

三年ぶり研修旅行八甲田丸・ワラッセ見学

白秋倶楽部みずき

新型コロナ感染の影響で２０１９年以来となる研修旅行。旅行日となった11月16日㈭は、皆さんの日頃の行いが良いせいか、雲・風共になく、すばらしい小春日和でした。

当日は新しく購入された町の福祉バスに総勢21名の会員が乗車して、水木地区ふるさとセンターを９時半に出発。

目指す今回の研修先は、久しぶりに昔懐かしい青森・函館を結ぶ青函航路で運航された八甲田丸の見学と青森市の観光施設で、青森ねぶたが展示されてあるワラッセの見学。

八甲田丸では操舵室並びに最上階甲板から眺める青く広がる青森湾の海面を満喫。ワラッセでは今年の夏を沸かせたねぶたと、各パーツ内部をじかに見て、これを作る手間は大変だろうと想像。

お昼は平川市津軽おのえ温泉日帰りの宿「福家」でお膳を囲んでの食事。

ビール等で乾杯したあと美味しい料理を頂いて、各自、おしゃべりを楽しむ人、温泉につかる人、トランプで楽しむ人。

楽しい時間もあっという間に過ぎ、午後三時に「福家」を出発し帰路についた。

青函連絡船「八甲田丸」の左舷側
久しぶりの旅行で、おしゃべりやゲームを楽しんだ

常盤ひとり旅

第九回

石澤清五郎

（前月号より続き）

八幡宮は旧常盤村に、常盤、榊、若松、徳下、富柳、水木と六地区に鎮座しているので、一体この由来は何かと調査したところ、総本社は大分県宇佐市の「宇佐神宮」と言われている。また「天皇むかしむかし」（角川文庫、昭和53年発行）の八幡宮物語の巻を長々読んで自分なりに一口で申すと、「八幡」というのは沢山の旗のことで、朝鮮に沢山の旗を立てる「ムータン」という祭があるという。それとつないで、八幡という神様は朝鮮帰化人がもってきた神で、朝鮮出兵にからませて神功皇后（じんぐうこうごう）とお腹の中に入っていた応神天皇（15代天皇）を祭神としたものようだ。また「日本歴史館」（平成５年小学館発行）によれば、「八幡神は８世紀初頭の大隅隼人（おおすみのはやと）の同化政策の中で生みだされた隼人鎮撫（ちんぶ）神である」と書かれてあった。

なお日本歴史地名大系（平凡社発行）によると「常盤八幡宮は明治６年から８年まで徳下八幡宮を合祀した」とあるが、常盤には記録がない。徳下に明治６年10月の棟札はあったが何と書いてあったかは忘れた。

旧拝殿は解体せず、宝物殿として昔のままの姿で残してあった。入口の上に風雨にさらされ判読困難な芳名板がある。（拝殿建設の寄附者名だろう。だとすれば明治29年８月29日）。

拾円　小野健五郎　奥田正六　佐々木柾一　斉藤善二
四円　浅利由吉　三円　石澤興太郎
一円　早川丑五郎、五十銭　高木久治、飯塚惣一……。

宵宮の時は興行の舞台としたり広く活用されているようで、常盤地区民の知恵だと感じた。

絵馬が固く張り付けて残ってあったのは有難かったが、裏に書いてある奉納者や年代を見ることのできなかったのが残念である。

拾い上げて見ると馬の大形額、中形十八、小形七、狐三、犬三、御宝前と書いてある額二、その外高砂、松に鳩、鶏、蛇、風景画等39枚飾られており、村内では一番多く残されているのではなかろうかと思った。解明できたのは、明治40丁未（ひのとひつじ）旧６月14日、大正11年旧８月18日奉納、名前の判名は、高木興助、二階重吉、奥田正六、高木富太郎娘いそ19才、とあった。御輿（みこし）は鈴木建設が梅田町のため築造し寄贈したものだそうで、立派なものがシートで囲んであった。町内の祭の時は担いだ年もあったそうだが、重量があり過ぎて近年は出したことがないという。大太鼓が五張（近年はネブタ用）篝火（かがりび）台一対。

マゲ（屋根裏）の上にも物品が相当積まれてあったが、煤（すす）が積もり調査は次の機会にすることとしたが、一枚だけ目についた。御神馬寄附芳名録とあり、末尾に一金三万三千四十円、昭和36年８月15日、村中、とあったが、この御神馬は境内には見当たらなかった。

◇歯なしの話 142◇

佐藤　透

気づかされること

久しぶりに外国へ行くということで、いろいろなことに気づかされることがある。

まずはパスポートである。今は受け取りの時に一度だけ役所に足を運ぶだけで済む。どうするのかというと携帯電話などを用いてやりとりする（写真も自分でとる）。最終的に受け取りに行くだけだという……ことが自分ではしていないので、ハッキリとは分らない。また、パスポート用の写真を撮りに行った時に、眼鏡のフレームが目に重なったということでやり直しになった。

そしてまた、乗り込む飛行機だがジャンボ機（大型機で行ければ良いという時代）が流行った時と違い座席が少ないのである。全機種かどうかは不明であるが、今度行こうと思った米国行きの例えばロスアンジェルス⇔羽田のエコノミークラスの座席は３＋３＋３列であり、昔の大型機のときは３＋６＋３列？だった様に記憶している。（４＋６＋４列？だったか？）

先日、来日した娘の話だと乗って来た機種は案外と広く足元も思いのほか広いので快適だったそうである。娘たちとよく話をするのだが、日系会社の飛行機は種々のサービスが良いのでお勧めだそうだ。何よりも日本語が通じるのと、無理して英語を話さなくてもよく負担が少ない。（笑い）

ところで人によっては機内食を楽しみにしている旅行者も多いことと思うが、比較的日系機は良いように思う。ときに選択にもよるが、帰り便などは日本食が出ると米国や他国の食事にうんざりしてきた人にはホッと心安らぐ。

パスポートの話に戻るが、通用期間が５年・10年の２種類がある。海外旅行が多く、長く旅をする人は10年の方かな？

さてさて、今度行く米国旅行の準備が楽しくてしょうがない。更に、団体旅行では無く個人で手続きを全部やると、とてもハラハラして、もっと楽しいのである。時々だがミスすることもあり、それもまた楽しいのある。

皆様もチャレンジしてみたらいかがですか。……（笑い）

◇◇俳句◇◇

無為の日々ご破算にして新暦　五十嵐かつ

起き出さな起きずあれこれ松の内　海野比呂子

「みすゞ」きく子らの眼差し外は雪　木崎　道子

添え書きの無きまま遅き年賀状　鳴海　艸人

雪吊りや春待つ城郭松みどり　清水稼志男